

研修会参加報告書

会派名：財政健全課

1. 研修の概要

- (1) 目的 2021年度決算について
- (2) 日時 2022.8.27(土) 14:00～17:00
- (3) 場所 ZOOMにて
- (4) 参加者 杉浦 功記

2. 研修内容

2022年度第2回全国自治体議員行財政自主研究会

テーマ：21年度自治体決算～コロナ禍の財政の役割～

講師：菅原敏夫氏（地方自治研究所研究員）

◇菅原氏からレジュメに沿った講義

- ・コロナ禍にあつて国、自治体の税収は過去最高を更新
- ・コロナ禍で「傷んだ経済」「減った税収」というのは決算結果を見ればウソだった
- ・2021年度の国や自治体（東京、大阪、愛知等）の決算見込みを読み解く
- ・見通しはどこも「先行き不透明だから引き続き頑張る」という雰囲気のみ発表ばかり
- ・健全化判断比率は大きく改善するも、内情はコロナ禍により収入が増えて借金を返す余力ができて特に努力しなくても改善してしまっただけ
- ・各自治体が県へ提出する検収調書を事前に手に入れることで、決算書類が手元に届くより前に状況を把握できる

◇研修参加者から各自治体の決算カードについての考察等発表

- ・株式譲渡税や配当税が減り利子税が減っているのは、銀行預金から投資へ資金が流れたことの流れであり、金融機関に勤めていた私としては面白いと感じた
- ・企業決算とは違い、前年度からの繰越金そのまま当年度収入として組み込まれ、単年度収支（損益計算書）が出ないことに違和感を覚えた → 講師からもその通りとの発言あり

◇類似団体（西尾市と小山市）の比較

3. 所感

決算は終わったことの確認であり今更どうしようもない、と考える人もいるかもしれないが、そうではないと思う。過去を確認し、未来（予算）へつなげることが大切であり、もし決算が否決されれば市が理由書を提出し説明責任が生じる重要な事柄である。

その昔12月に行われていた決算審査は9月に行われるようになり、より重要性を増した。西尾市でも間もなく2021年度決算審査が始まる。責任を持って臨みたい。

項目	支出金額	備考
研修費	5,000円	研修費として
計	5,000円	